



# パラオ通信

No.2 2/25/2019

JICA 海外協力隊 SV 天野久雄

今回はバレンタインデーと日本フェア、クリーンアップ活動の話です。

## パラオはアメリカ式のハッピーバレンタインデー

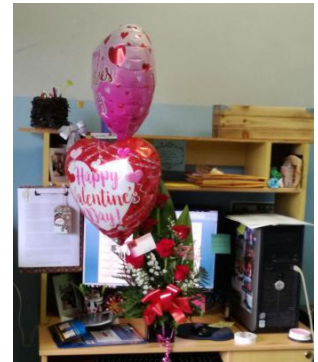


2月14日はバレンタインデー。日本では女性が職場の人や恋人に、チョコレートを渡す日ですよね。女性がアプローチしたい男性に愛を告白するかわりにチョコレートを贈るのが日本式。今では職場の上司や同僚、恋人同士でも女性から男性にチョコレートを贈るようです。ただし本命と言われる人には、手作りのものや高価なチョコレートを贈るとか。

パラオでは、チョコレートやクッキーをショッピングセンターで気軽に買ってきます。多くはリボンや風船を付けたセットのものです。それを女性から男性に、あるいは男性から女性に贈ります。女性から女性、男性から男性というのものもあるそうです。クリスマスのプレゼントみたいです。

驚いた私は、「男性から男性！？ 本当にいいの？」と聞き返しました。すると「日本と違ってパラオはアメリカ方式だから」と言っていました。特別な関係の人だけに贈るというものではありません。

右の写真は私の同僚（女性）がもらったチョコレートセットです。下の写真の男性は、今日は早く帰って妻にこれを渡すのだと言っていました。とにかくこの日は、職場のみなさんが楽しそうでした。



クリスマスときは「ハッピー・クリスマス」、お正月では「ハッピー・ニューイヤー」というように、この日は「ハッピー・バレンタイン」とパラオの人たちはあいさつします。とにかく陽気な人たちです。

パラオでは12月から2月まで、ずーっとハッピーな日が続いているのです。

この日は、多くの女子高生がプレゼントを手にして下校しました。どれも飾り付けをした大きな物なので目立ちます。しかも彼女たちはカップルで帰ります。とてもオープンです。日本の高校ではありえないでしょう。

高校生の間には特別ルールがあって、付き合っている人にしか渡さないそうです。それにしてもプレゼントを手にした女子高生が多すぎる。それが私の感想でした。

## 日本フェアを手伝う JICA 隊員たち (1)

2月17日(日)に、ガラマヨン文化センター(コロール州内)で「日本フェア」が開催されました。パラオの人々に日本文化を紹介し、楽しんでもらいイベントです。

パラオにある日本大使館が主催で、今年で9回目です。2020年に東京オリンピックが開催されますよね。パラオの選手たちを受け入れる茨城県の常陸大宮市(ひたちおおみやし)の市長さんたちも参集しました。



イベントはダンスや柔道などのパフォーマンス、「ひたまる」くんとおのじゃんけん大会と盛りだくさん。浴衣の着付けや折り紙、凧やけん玉あそびのコーナーも人気でした。

私は教育大臣の声援を受けて「ひたまる」くんに挑戦したのですが、3回目のじゃんけんでは負けてしまいました。残念。2019年は、日・パラオ外交関係樹立の25周年にあたります。



JICAの海外協力隊員は、ふだんは小学校や病院、公共事業会社などで働いています。このように日本文化を紹介するイベントやボランティア活動にも積極的に参加しています。

日本語補習校の生徒たちもダンスを披露しました。見事なパフォーマンスで、たくさんの拍手が会場いっぱいに響きました。



書道



けん玉と竹とんぼ



凧づくり

## クリーンアップ活動に参加する JICA 隊員たち



2月23日(土)にロックアイランド・クリーンアップ活動が実施されました。日本で JICA 研修を受けたパラオの人たちが主催した行事です。海岸にはポリ袋やペットボトル、プラスチックごみが流れ着いていました。

今回は JICA パラオ支所長の立原さんや調整員の浅井さんをはじめ、協力隊員も参加しました。残念ながら、私は腕にけがをしているので参加できませんでした。

この行事は毎年行われます。昨年は3月にカヤンゲル島で行われました。



カヤンゲル島 (1)



カヤンゲル島 (2)



カヤンゲル島 (3)

## お知らせ

次回は、パラオで活動している JICA 隊員を紹介します。お楽しみに！